

# 2020年 教育改革

なぜ、今、教育が変わるのか

21世紀の社会を生き抜く  
ために**必要な能力は**  
**大きく変わる。**

# 社会の変化 ①

あと10～20年で、  
**49%**の職業が機械に  
代替される可能性がある

## 社会の変化 ②

2011年にアメリカの小学校に  
入学した子どもたちの**65%**は、  
今は存在していない職業に  
就くだろうと予測される

## 社会の変化 ③

約1/3の企業が  
外国人留学生を採用。

特に1,000人以上の企業では  
3社に2社とその割合は増加する

この数字は何でしょうか？

53.8%

# 答え

現小1生が22世紀を  
むかえる確率。



変化の激しい時代を生きる  
子どもたちが、社会の中で  
活躍できる**資質・能力**を  
育成する

**それが、2020年の教育改革。**

どんな改革が起こるのか

1

学校教育が変わる

= 新学習指導要領へ

2

大学入試が変わる

= 大学入学共通テストへ

= 多面的・総合的評価

# ① 学校教育が変わる

未来を生きる子どもたちに  
「どのような力(資質・能力)を  
身につけるのか」「何ができる  
ようになるのか」まで踏み込んで  
求める教育へ

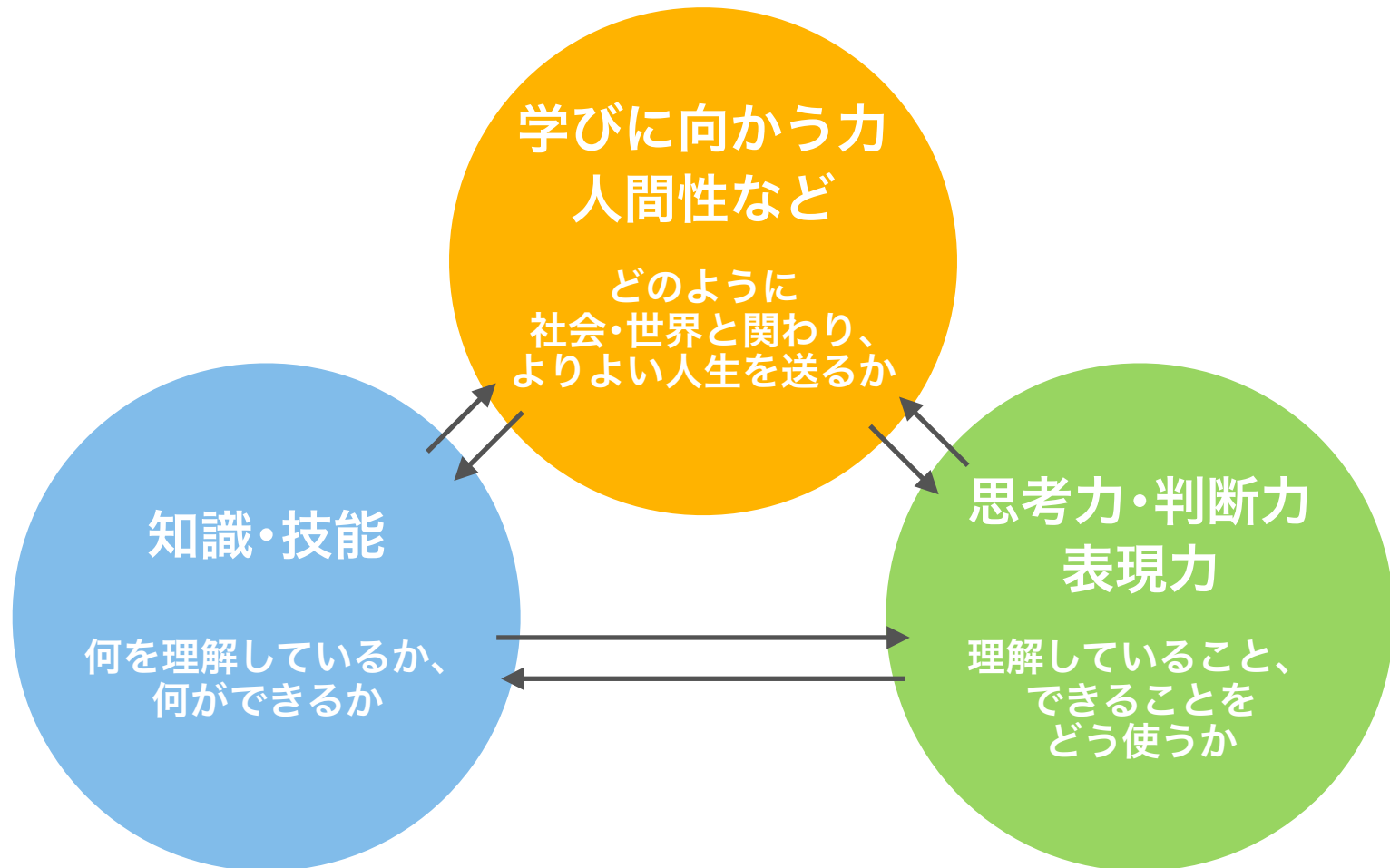
これまで

「学んだことをきちんと理解してるか（知識・技能）」  
の評価が大きなウエイトを占めていた

これから

知識や技能を習得するだけでなく、  
それをもとに「自分で考え、表現し、判断し、  
実際の社会で役立てる」ことが求められる

# 育成を目指す資質・能力の3つの柱



資質・能力を身に付けるために  
「どのように学ぶ」のか



「主体的・対話的で深い学び」を  
取り入れた授業が実施される。

「主体的・対話的で深い学び」(≒アクティブ・ラーニング)とは。

教員による一方通行の授業から、  
**生徒自身が主体的・能動的に**  
**参加する授業・学習へ。**

- 発見学習
- 問題解決学習
- 体験学習
- 調査学習
- グループワーク
- ディベート
- 教室内でのグループディスカッション



資質・能力を身に付けるために  
「何を学ぶ」のか



教科・科目の構成や  
目標・内容が新しくなる。

## 教科、科目の新設例

- 小学校：3・4年生での「外国語活動」  
5・6年生での「英語」教科化
- 高校：「公共」「歴史総合」「地理総合」  
「理数探究」などの新設

# 小学校での 「プログラミング教育」必須化

- プログラミング言語やコーディングを学ぶことが目的ではない。
- 既存の教科の中で、問題の解決には必要な手順があることに気付くなど、基礎的な「プログラミング的思考」を養うのが主目的。
- 各教科の特質に応じた見方や考え方との相乗効果を狙い、「主体的・対話的で深い学び」の中で実現させるような指導内容で行われる。

## 2 大学入試が変わる

センター試験に代わり  
「**大学入学共通テスト**」導入。

思考力・判断力・表現力も  
問われるようになる。

大学の個別学力試験も、  
多面的・総合的な評価が重視されるように。

これまで

## 「大学入試センター試験」

出題形式：マークシート式  
英語：2技能評価（聞く、読む）

これから

## 「大学入学共通テスト」

出題形式：国語・数学で記述式問題導入  
英語：4技能評価「聞く」「読む」「話す」「書く」

# 「大学入学共通テストでの 記述式問題の導入」

会話文、データ、図など、多様なテキストを読みとり解釈し、  
複数の情報を組み合わせて考えをまとめたり、  
的確に説明する力が問われる

- **国語**

80～120字程度で答える問題を3問程度

- **数学**

「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」受験者を対象に「数学Ⅰ」の範囲から3問程度

# 「英語4技能評価」

英語を使う力(英語の知識・技能を活用して、思考・判断したことを表現できる力)を4技能で評価されるように

- 2技能(聞く、読む)から4技能(聞く、読む、話す、書く)へ
- 資格・検定試験を活用
- ▶ 活用可能な資格・検定試験(7種)  
「GTEC※1」、ケンブリッジ英語検定、TOEFL、IELTS、TOEIC、TEAP、実用英語技能検定(英検)※2

※1 「GTEC」は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

※2 「従来型」を除く、新設される「公開会場実施」「1日完結型」「4技能CBT」。

※ 英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

# 「個別大学試験における 多面的・総合的評価」

個別試験や私立大学試験については整理・大別され、  
多面的な能力や適性を評価する試験へ。

- **総合型選抜 (現AO入試) ・ 学校推薦型選抜 (現推薦入試)**

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の適切な評価のため、各大学が定め実施する評価方法もしくは「大学入学共通テスト」のいずれかの活用を必須化

- **一般選抜**

筆記試験以外に、調査書・本人が記載する学習記録、成果などを積極的に加え評価



未来を見据えた  
教育の大改革が  
スタートします。